

老朽美浜原発事故時 感染症対策等 避難先自治体へのアンケート 結果

- アンケート対象自治体 74 市町村* (福井県 6、石川県 2、奈良県 4、兵庫県 11、岐阜県 2、滋賀県 6、大阪府 43) [内閣府「美浜地域の緊急時対応」による]
- 回答率：93% (74 市町村の内、回答あり 69 市町村、回答なし 5 市)
- アンケート実施期間：2021 年 2 月 16 日～3 月 4 日
- 方法：アンケート用紙を F A X・メールで送付し、同様に回答を受け取った
- アンケート実施団体：福井と関西の 3 団体
(ふるさとを守る高浜・おおいの会/ 安全なふる里を大切にする会/ 避難計画を案ずる関西連絡会)

◆感染症対策を実施すれば避難所は足りない

避難所が「足りている」は 4 割の市町村のみ

「足りない」と「その他」(「調整中」等で現在は足りない) の合計は 6 割にも

感染症対策 避難所の数は足りていますか？



(足りている 28 市町村/ 足りない 24 市町村/ その他 18 市町村、複数回答あり)

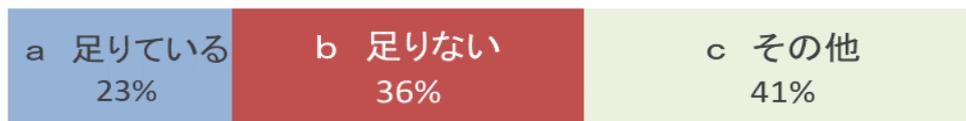
★美浜原発事故時の避難対象は、福井県民が全体の 8 割強を占める

福井県民約 228,000 人、滋賀県民約 50,000 人、岐阜県民約 50 人 (内閣府想定)

◆避難者を福井県民に限った場合

「足りている」避難先は 23% (5 市町) だけ

- ・美浜町の避難先となっているおおい町は「県が検討中の避難先の多重化確保」に頼っているが、県では具体化されておらず、実効性はない
- ・さらに、「足りている」と回答している福井市(敦賀市の 65,000 人受入れ)は、「県が必要な施設を確保することになっているから」との回答で、現状で「足りている」訳ではない



(足りている：5 市町/ 足りない：8 市町/ その他 9 市町、複数回答あり)

◆滋賀県民の県内避難先：長浜市等は避難所を公開せず。避難先が分からない

県外避難先：大阪府は「拠点避難所 1 か所」が多数、マッチング*もなし

(マッチング：避難元住民がどの避難所に入るのかの具体化)

コロナ禍で「3密」を避けるため、避難所もこれまでの 2 倍近いスペースが必要となっています。そのため私たちは、原発事故時の避難所について、避難先自治体にアンケートを実施しました。結果は、感染症対策を実施すれば、現在の避難所では足りないことを示しています。また、対策が必要と感じていても、「調整中」との回答も多く、現状では、避難する住民の安全を守ることはできません。アンケート結果が示す現実から、老朽原発の再稼働はやめるべきです。

ご多忙の中、自治体の皆様にはアンケートにご協力いただきました。ありがとうございました。

美浜原発事故時の避難先自治体アンケート結果

避難元	避難元市町	避難先	受入人数	避難所の数	マッチング ●できている ×できていない	感染症対策で避難 所は足りているか ●足りている ×足りない	濃厚接触者の 別室確保 ●確保している ×できていない	
福井県	美浜町	おおい町	9,300	10	●	その他	(その他)	
		大野市	10,000	16	●	その他	×	
	敦賀市	福井市	65,000	131	●	●	●	
		奈良市	40,000	160	●	×	×	
		大和郡山市	9,688	27	●	その他	●	
		天理市	7,500	34	●	その他	●	
		生駒市	9,600	32	●	その他	●	
	若狭町	丹波市	2,000	6	●	×	●	
		丹波篠山市	回答なし					
		三木市	3,100	14	●	×	●	
		加東市	1,700	—	×	×	●	
		小野市	回答なし					
		西脇市	1,700	5	●	●	●	
		加西市	2,000	9	●	●	●	
		多可町	716	4	●	×	●	
	小浜市	姫路市	22,000	38	●	●	—	
		朝来市	1,172	8	●	×	●	
		豊岡市	3,200	13	●	●	—	
	南越前町	永平寺町	11,906	26	●	その他	●	
	越前市	坂井市(1)	20,300	22	●	その他	●	
		あわら市	11,542	22	●	×	×	
		小松市	38,000	60	●	その他	●	
		能美市	13,500	23	●	×/その他	●	
	越前町	坂井市(1)	20,000	34	避難元越前市の回答と同じ			
	滋賀県	長浜市	長浜市内	24,000	49	●	●	●
			草津市	3,300	30	●	●	●
			甲賀市	14,151	81	●	×	●
東近江市			回答なし					
堺市			5,000	3	●	×	●	
岸和田市			1,218	1	●	×	—	
泉大津市			480	1	●	●	●	
貝塚市			—	—	×	その他	●	
八尾市			1,800	1	●	●	●	
泉佐野市			434	1	●	●	●	
富田林市			786	決まっていない	×	×	×	
河内長野市			—	41	×	その他	●	
松原市			回答なし					
和泉市			1,200	4	●	×	×	
柏原市			400	29	×	●	●	
羽曳野市			890	1	●	×	×	
高石市			349	19	●	●	●	
藤井寺市			432	1	●	×	×	
東大阪市			3,337	1	●	●	●	
泉南市			300	1	●	×	×	
大阪狭山市		423	1	●	●	●		
阪南市		—	—	×	その他	×		
忠岡町		70	1	●	●	●		
熊取町		354	1	●	●	●		
田尻町		40	1	●	●	●		
岬町		113	1	●	×	●		
太子町		158	1	●	×	●		
河南町		101	1	●	×	×		
千早赤阪村		110	1	●	●	×		
高島市		高島市内	1,500	23	●	●	●	
		大津市	27,000	61	●	●	×	
		豊中市	2,088	1	●	×	●	
		池田市	500	12	●	●	●	
		吹田市	1,925	6	●	●	●	
		高槻市	2,000	3	×	●	●	
		守口市	はっきりしていない	決まっていない	×	その他	×	
	枚方市	2,389	1(拠点避難所)	●	その他	(その他)		
	茨木市	1,600	未定	×	その他	×		
	寝屋川市	1,581	5	●	×	●		
大東市	はっきり分らない	—	×	その他	×			

避難元	避難元市町	避難先	受入人数	避難所の数	マッチング ●できている ×できていない	感染症対策で避難 所は足りているか ●足りている ×足りない	濃厚接触者の 別室確保 ●確保している ×できていない	
滋賀県	高島市	箕面市	999	1	●	×	×	
		門真市	回答なし					
		摂津市	1,700	32	×	●	●	
		四條畷市	370	14	×	その他	●	
		交野市	465	1	●	×	●	
		島本町	185	1	●	●	●	
		豊能町	143	1	●	×	●	
		能勢町	44	1	●	●	●	
	高島市	大阪市	11,281	未定	×	その他	●	
	長浜市		5,710					
岐阜県	揖斐川町	揖斐川町内	50	1	●	●	●	
		美濃市	50	1	●	●	●	

※避難先市町 74 のカウントについて：

坂井市は、避難元越前市と越前町の回答が人数・避難所数以外は同じのため 1 と数える
 大阪市は、避難元高島市と長浜市の回答が人数・避難所数以外は同じのため 1 と数える

【回答の特徴と自治体の声を一部紹介します】

◇マッチングができていない：13 市町（大阪府下が 12 市町。滋賀県の避難先）

★滋賀県民の県外避難先：大阪府は「拠点避難所 1 か所」しか決めてない市町が多数。そのため、マッチングもできていない

- ・避難所がはっきりしていない（大東市等）、受入れ人数が決まっていない（守口市等）
- ・拠点避難所は決めていたが、その後は、調整が必要（茨木市）
- ・事故発生後の滋賀県の状況に応じて対応（大阪市：高島から 11,281 人、長浜から 5,710 人）

◇避難所の感染症対策

- ①「足りている」は 4 割だけ
- ② 6 割の市町が「足りない」「その他」と回答
- ③「足りない」24+「その他」18=42 市町（複数回答あり）
 42 市町の中で「対策予定」は 15 市町のみ。「対策していない」9 市町
 「その他」18 市町は「事故時に調整・相談」等＝事実上対策なし

<足りている理由>

- ・多くは、感染症対策をしても現在の避難所で十分と回答

★福井市（敦賀市民 65,000 人の避難先。避難所 131 箇所）：「足りている」の理由？

「県が、県有施設の活用や、近隣市町、他県と協議調整し、必要な避難所を確保することになっているため」

→上記回答では、現状では避難所は「足りない」ということになる

<対策を予定> ★避難所の見直しや検討はこれから

- ・市が被災した場合のことも含め、避難所の指定は増やしているが、まだまだ足りない
- ・屋外テント・パーテーション等の購入/ ホテル等との協定締結の検討
- ・体育館周辺の小中学校を含めた市有施設での避難者の受け入れ（豊中市）
- ・避難所等を見直す。県と調整する（甲賀市）

<対策はしていない> **★使用可能な施設がない、目途もたっていない**

- ・施設の不足
- ・他の避難所は常時使用している（小中学校等）。又、他に避難所として使用可能な施設がない為
- ・現時点では確保できておらず、目途もたっていない（交野市）
- ・具体的な検討はできていない（能美市）
- ・4 平米を基準にした場合、足りている施設とそうでないところがある。マッチングをして受け入れを決めているため受け入れ元との検討が必要と考える（多可町）

<その他>

★県、関西広域連合、国に依頼するとの回答が複数あるが、具体化されていない

- ・福井県で、感染症流行下における避難先の多重確保等について検討されている（おおい町）
- ・避難先が不足する場合は、福井県が関西広域連合や国に対して、必要な避難所の確保を依頼することとなっている（敦賀市の県外避難先：奈良県の4市は同じ回答）
- ・受入れ施設が決まっていない、人数が不明
- ・他の公共施設やホテル等の民間施設を利用して対応を考えているため（坂井市）

◇濃厚接触者の別室確保

★福井県による「避難先の多重確保等」は具体化されていない

★濃厚接触者等は避難して来ないと思っている市町もある。「調整中」も多い

- ・7割の市町が「別室を確保できている」と回答（48市町村）
自然災害時の自分の市町用で「確保」という内容や、また、パーティションで区切る等も含まれている。原発避難の場合に「別室」が用意できているかは定かではない。
- ・23%の市町は「確保できていない」（16市町）
 - ・一部施設について別室の確保はできているが、全部できているわけではない（大野市）
 - ・避難所開設時に使用できる部屋を施設管理者と調整し、発熱者等の部屋を確保する（奈良市）
- ・回答の選択無しは7%（5市町）
 - ・福井県で避難先の多重確保等について検討されている。確保しなければならぬと認識している（状況・人数等による）（おおい町）
 - ・濃厚接触者が来ることは想定していなかったので無回答にしている
 - ・現時点では定めていない

◇困っていること、県や府、関西広域連合への要望などの意見

- ・コロナ禍においては一人当たりの必要スペースが増えることから、避難所の収容可能人数が限られるので、避難所の確保に困っている（河南町）。
- ・感染症対策で、受入れ可能な避難者数が大きく減少するため、各自治体の受け入れ人数の再調整が必要。（受け入れ自治体数を増やし、割り振りを減らすなど）（豊能町）
- ・福井県が検討している避難先の多重確保等について、具体化を進めて頂きたい（おおい町）

2021. 3. 17（一覧表に●等の説明を追加）

ふるさとを守る高浜・おおいの会
安全なふる里を大切に作る会（若狭町）
避難計画を案ずる関西連絡会